

# 実践事例の紹介 - 音楽科 -

○小笠原志乃 原田薫 高津梓 根岸由香 吉田博子

## 1. 小学部「音楽科」単元名「一緒に演奏しよう」

文責：高津梓

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	5・6年	12時間	9月～10月
※毎時、以下の活動を繰り返し実施する。			
活動名	みんなでこえをだそう(歌唱)	おおつかのねこ/ゆずスマイル(歌唱・身体表現)	ファンファーレ(器楽)
活動内容	曲に合わせて声を出し、声の大きさや長さを調整したり、メロディに合わせて歌ったりする。	映像や歌詞を見ながら、歌ったり、声を出したり、動作で表現したりする。	3～4人でベルを分担して持ち、短い曲を演奏する。
		かんしょう(鑑賞)	にじのかなたに(器楽)
		毎回異なる楽器や歌の「虹の彼方に」の曲を聴き、イメージを言葉や身体で表現する。	いくつかの選択肢からやりたい楽器を選ぶ。ドレミ譜を見て旋律を演奏したり、曲を聴いて音を鳴らしたりしながら、友達と音を合わせる。

### 〈他教科との関連〉

そら組	他教科等との関連			「大塚祭」に関連した単元		
行事	9	10	11	12	1	2
生活	運動会	大塚祭	お楽しみ会	お楽しみ会	お楽しみ会	お楽しみ会
生活	みんなのまちをたんけんしよう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう
国語	おはなしをよもう	おはなしをよもう	おはなしをよもう	おはなしをよもう	おはなしをよもう	おはなしをよもう
算数	いろいろなかたち	いろいろなかたち	いろいろなかたち	いろいろなかたち	いろいろなかたち	いろいろなかたち
音楽	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)	いっしょに演奏しよう(歌・合奏)
図工	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう	みんなのまちをつくらう
体育	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)	体をたくらん動かし続けよう(ダンス等)

大塚祭に関する単元として、国語で物語を学んだあと、動画発表「おおつかのねこ」の中の、歌唱や演奏(音楽)、ダンス(体育)、台詞のやりとり(国語)に取り組んだ。また、まち探検(生活)や形の学習(算数)を活かしながら、関連する展示の制作を行った(図工)。関連する学習は各教科で実施したが、他学級と合同で取り組んだ2単位時間は「合わせた指導(国・音・体)」で実施した。

## 2. 中学部「音楽科」単元名「創作-歌やダンスで表現しよう」

文責：根岸由香

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	中学部全体	12時間	9月～11月
次	1	2	3
小単元名	沖縄音階で歌づくり	「エイサー」を踊ろう	オリジナルソングを歌おう
活動内容	沖縄の言葉や名所、名物、伝統文化や芸能について知る。5音音階である沖縄音階とドレミファソラシドとの違いを知り、実際に音を出して即興演奏をする。	沖縄の芸能である「エイサー」のリズムを知り、「パーランクー(太鼓)」や「ウフデーク(太鼓)」を叩いて表現する。舞台発表に向けて、エイサーの踊りを覚え、友達と合わせて踊り表現する。エイサーの衣装を着ることで、沖縄の舞踊についての知識を深める。	沖縄について学習した内容と、中学部の友情や思い出をオリジナルソングにして、全員で歌う。実際の歌唱が思い出深く感動的なものになるように、大塚祭で舞台発表を行ったり、附属高校との交流会でも、交流先の高校生と一緒に歌う。

### 〈他教科との関連〉

特別活動  
音楽  
生単

中3が「修学旅行(特別活動)」で沖縄へ行くことを契機に、3学年共に『沖縄』をテーマとして、「大塚祭(特別活動)」を実施した。各学年の「生活単元」で調べ学習を行い、動画や舞台での発表と共に成果を報告した。また、同日に「附属高校との交流会(特別活動)」も実施し、更なる学習の定着を図った。中3が実体験してきたことを活かして学習を進めたことで、生徒達の興味や関心が高く、沖縄の文化や芸能、言葉、食べ物、名所、建物など、いろいろなことを調べた。他の活動からの学びを活かし、様々な角度からの物事の見方に繋がった。

## 3. 高等部「音楽科」単元名「鑑賞-様々な地域の音楽を知ろう」

文責：根岸由香

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期	
(2) 指導の流れ	各学年	8時間	11月～1月	
次	1	2	3	4
小単元名	箏曲を知ろう	鑑賞「さくら」「六段の調」「春の海」	演奏体験「春の海」	箏の伴奏で歌おう
活動内容	日本の伝統音楽の一つである、箏曲や三曲合奏について学び、その構成楽器や代表的な曲を知る。	箏曲の代表的な曲として、「六段の調べ」「さくら」「春の海」を学ぶ。代表的な調弦「平調子」の調弦方法を実際の演奏を通して説明し、調弦を変えて「春の海」を弾くことや、様々な奏法に触れる。作曲家や箏曲の変遷について知る。	「春の海」の冒頭部分を、簡単に演奏できる音配列に調弦した箏を使用して弾く。春の海的情景をイメージしながら、間とテンポに留意して演奏する。	国語で学んだ「昔の言葉」と歌詞の意味を思い出しながら、箏の伴奏で「さくら」を歌う。箏の音色に合わせた声で歌う。

### 〈他教科との関連に向けて〉

音楽  
国語

箏曲「さくら」を箏の伴奏で歌った際歌詞が「昔の言葉」であることに気づき、その気づきを基に、国語で歌詞についての学習を行った。歌詞の意味や、古語について「国語」の時間に知識を得ることで、音楽での「歌唱」や「箏曲」に対する表現が深まり豊かになった。今回は、国語を中心に実施したが、楽曲の歌詞によっては「外国語」、様々な地域の学習は「社会」、自然や季節感「理科」、情景描写等は「美術」、「身体表現」は「体育」との関連を模索できる可能性がある。

※本実践は文部科学省研究開発学校指定の研究活動の一部として、2023年度の実践をまとめたものです。